

持続的成長に向けた経営課題と取り組み

創業以来50余年、高品質なセキュリティサービスを提供し続けてきました。「人財」や「組織力」、お客様や社会からの「信頼」を大きな強みとして、グループ売上規模1兆円、経常利益1,000億円を目指して経営基盤の強化に取り組んでいます。めまぐるしく変化する内外情勢の中、お客様と社会の「安全・安心」な未来を支えるための新しい価値を創造すると同時に収益力を向上させることで、すべてのステークホルダーの皆様の期待に応える成長を目指します。

創業以来50余年にわたる経営資源・ノウハウの蓄積

従業員数 36,693 人	セキュリティプランナー 資格取得者数 533 人(業界第1位)	救急救命講習修了者数 17,151 人	女性従業員数 (連結、パート含む) 約 9,000 人
日本全国の待機所数 約 2,400 カ所	駆けつけ時間 約 14 分	海外展開 東南アジアを中心に 9 カ国	緊急通報システムで 協働する自治体数 425 自治体
格付投資 情報センター(R&I) A (10年連続)	JPX-NIKKEI 400 3 年連続選定	FTSE4Good 10 年連続選定	東京2020 オフィシャルパートナー

蓄積されたALSOKの強み

人財

組織力

信頼性

Eyes Toward the Future

2017年3月期

売上高 **4,133** 億円

経常利益 **303** 億円

目指す姿

グループ売上規模

1兆円

経常利益

1,000億円

STEP UP STAGE さらなる飛躍へ向けて

グループ売上高の拡大

テロやサイバー犯罪の脅威、自然災害、少子高齢化、労働力人口の減少など、社会的リスクが山積する中において、ALSOKグループではお客様の多様化する安全安心ニーズを的確に捉え、対応していくことが責務だと考えています。そのため、警備業務はもとより、子どもや高齢者の見守りなどにも最先端のICT機器を積極的に導入し、犯罪抑止・見守り機能の強化等を推進しています。また、国や自治体の防災・減災や国土強靱化などの政策に呼応し、主にインフラ監視等の分野で安全な国土、街づくりへの貢献を目指しています。金融機関、民間企業向けの各種業務では、労働力人口の減少や現金流通市場の変化を見据え、警備やATM管理など従来のアウトソーシング業務のみならず、施設管理、事務処理等を含め総合的にお客様をサポートしていきます。

さらに今後は、近年のM&Aにより強化されたグループ連携を最大限に活かし、これまでの事業領域の枠に捉われずにサービスを提供していくことが非常に重要であると認識しています。施設・建物の包括的管理サービス「警備も設備もALSOK」は、セキュリティ事業とグループ会社の設備管理・工事ノウハウを融合することで誕生しました。介護分野では、居宅系・施設系双方のサービス体制が整い、利用者は約12,000人にのぼっています。これからも警備と介護をつなぐ第三分野のサービス展開など、高齢者向け事業を推進します。海外では、インドネシア、ベトナムで現地警備会社を連結子会社化しました。東南アジアを中心に9カ国でセキュリティ関連事業を展開する中で、今後は日本と同様のきめ細かい警備サービスを拡大していきます。

高収益体質への転換

ALSOKグループでは、より効率的なビジネスプロセスを追求することで、労働生産性の向上とコスト管理の両面から高収益体質への転換を目指しています。まず、労働集約型ビジネスである警備業において生産性を向上させるため、積極的にICTを導入し、ALSOKの機械警備隊員が所持する隊員指令システム用モバイル端末をスマートフォンに変更しました。その結果、現場で画像を確認しながらの機器操作や簡単な保守作業等が可能となり、現場対応力の向上とともに隊員のマルチタスク化が実現しました。同時に簡便な操作で勤務日誌の作成ができるなど、定型的業務にかかる時間も削減されました。

今後は、常駐警備員の資格取得、スキル向上にも取り組むほか、技術員をマルチエンジニアとして育成し、従来のALSOKの警備機器の施工・点検に加え、安全・保安に関わるさまざまな装置の保守点検業務を行うことで、業務拡大にもつなげます。また、ガードセンターやグループ施設の集約化を図るとともに、定型的業務におけるビジネスプロセスの効率化による時間外業務削減などにも努め、コスト管理にも取り組んでいきます。今後も、既存のマニュアルや慣例に捉われることなく、業務の抜本的な改善・見直しを行い、継続的に1人当たりの労働生産性を高めていきます。